

報道関係者各位

2023年6月7日

株式会社プライムプレイス

## 「スマーク伊勢崎」 第9回日本SC大賞「リノベーション賞」受賞！ 〈一般社団法人日本ショッピングセンター協会主催〉

株式会社プライムプレイス(本社：東京都中央区、代表取締役：川村 崇)は、群馬県伊勢崎市の商業施設「スマーク伊勢崎」が、2023年4月27日(木)に発表された一般社団法人日本ショッピングセンター協会が主催する「第9回日本SC大賞」において、「リノベーション賞」を初受賞したことをお知らせいたします。

### 〈施設概要〉

- 施設名           スマーク伊勢崎
- 所在地           群馬県伊勢崎市西小保方町368
- 構造規模       鉄骨造地上3階(一部5階) 塔屋1階
- 開業年月       2008年11月
- 店舗面積       約52,900 m<sup>2</sup>
- 駐車台数       約3,800台
- 店舗数           約170店舗
- URL             <https://smark-isesaki.jp/>



### 日本SC大賞／リノベーション賞「スマーク伊勢崎」選考理由

#### ■選考理由

2018年秋から3年半にわたり、施設全体の約65%にあたる約84店舗、大型店においてはその70%を入れ替える大規模リニューアルを実施した。

リニューアルのコンセプトは「Gathering Place」。開業から14年をかけて顧客との距離を縮めてきたことを踏まえ、「リアル店舗の魅力度・目的性を向上」「食の充実と時間提供できる空間」「生活提案型MDの充実」「環境変化に新たな運営手法の導入」を掲げ、人々が集まり、憩う場になることを目指した。

フードコート内のキッズキッチン、キッズトイレ、子どもの遊び場、ママ用ワイド駐車場など親子が快適かつ安心できる空間づくりや、駐車場の混雑具合の満空管理のAI化、駐車台数の拡充など、周辺環境整備にも努めている。

そうした環境面に加え、運営面では足元商圈9割の子供たちをカバーする似顔絵展や市・学校との連携によるイベントなど、地域に密着した取り組みにも力を入れている。

#### ■日本SC大賞について

「日本SC大賞」は、これからのSCのあり方を示唆し、社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として2004年に創設されました。

【引用】一般社団法人日本ショッピングセンター協会2023年4月27日付ニュースリリース

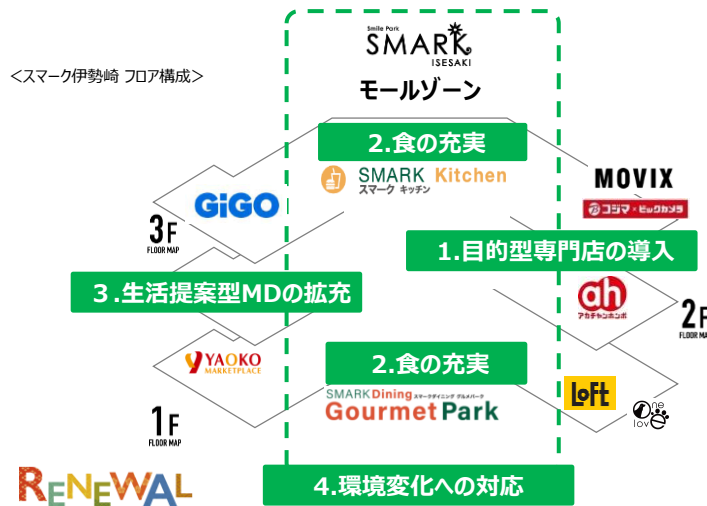
スマーク伊勢崎は、本年11月で開業から15周年を迎えます。開業来、常にお客様の声、視点に寄り添い、地域に愛されるショッピングセンターを目指して活動してまいりました。今回このような賞を頂くことができましたのは、長らく施設を支えていただきました地域のお客様、出店企業様をはじめとする各方面の皆さまのおかげと心より感謝をしております。これからも「地域のシンボル」として、まちの皆さまに、いつも新しい体験・感動を味わっていただけるような商業施設となるよう今回の受賞を励みに、より一層の発展を遂げてまいりたいと思います。

スマーク伊勢崎 センター長 瀧川幸枝

## スマーク伊勢崎 取り組み事例のご紹介

### ■ 大規模リニューアル＜バリューアップ＞

2018年秋以降約3年半にわたり、段階的にリニューアルを実施。



### ＜リニューアルコンセプト＞

## Gathering Place

#### ポイント1 目的型専門店の導入

核ゾーンの大型店舗のリニューアルを先行。リアル店舗の魅力度、集客力を向上

#### ポイント2 食の充実

豊かな食のライフスタイル・時間を提供できる空間へ

#### ポイント3 生活提案型MDの拡充

顧客ニーズの多様化に応じた店舗構成へ

#### ポイント4 環境変化への対応

館内外環境の改善、運営手法進化への取組み

取組み例：安心安全なSC運営の継続・強化、アフターコロナ対応策、デジタル技術の活用、SDGsへの取組み など。

### ■ AI カメラを活用した駐車場満空システムの導入＜環境改善＞

駐車時の混雑ストレスの軽減とお客さまサービス向上を目的とし、2021年9月よりAI技術を活用した施設内駐車場の満空把握・管制ソリューションを導入。昼夜・天候を問わず、カメラに映っている範囲で約100%の検知精度を達成。外部環境に左右されない駐車場管制・効率的な車室の満空把握が可能。



### ■ すまいるファミリー似顔絵展＜地域連携＞

地域の子もたちによる大切な家族の似顔絵をスマーク館内に展示した「すまいるファミリー似顔絵展」。地域の皆さまや各団体、お客様にご支持、ご好評いただき例年2,000点を越える作品を展示。足元商圏シェア率約9割となる。また、参加者へ飲食店舗で使用可能なクーポンを配布し、館内回遊促進。

